

時空を超え 現代へ！常長の功績を顕彰する

【主催】 支倉常長生誕祭実行委員会

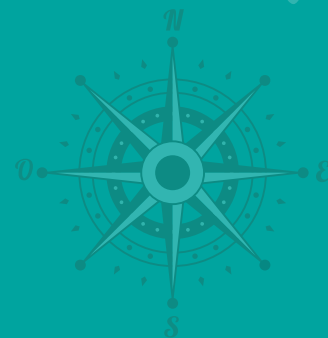
【共催】 置賜文化フォーラム

【後援】 スペイン大使館、スペイン政府観光局、外務省、総務省
東日本大震災「祈り」実行委員会、山形県、米沢市、米沢市教育委員会
米沢商工会議所、（一社）米沢観光物産協会、米沢繊維協議会
（公財）米沢上杉文化振興財団、（公社）米沢法人会
米沢国際交流協会、米沢市芸術文化協会、温泉米沢八湯会
高畠伊達の会、（公社）宮城県観光連盟、伊達家伯記念會
慶長遣欧使節出帆400年記念事業実行委員会、宮城県
石巻市、石巻教育委員会、石巻観光協会、津軽三味線会館
川崎町、川崎町観光協会、みやぎ・やまがた女性交流機構
山形新聞社・山形放送、テレビユー山形、山形テレビ、さくらんぼテレビ(株)
ニューメディア、エフエム山形、米沢新聞社、毎日新聞、日経新聞、産経新聞

【協力】 仙台市博物館、近畿日本ツーリスト横浜支店

【企画・制作】 音楽事務所ジャパンユニオン、ジーエスデザイン株式会社

支倉常長生誕祭実行委員会 事務局
ジーエスデザイン株式会社 山形県米沢市万世町桑山 4311
TEL0238-29-0100



日本・スペイン交流事業

はせ くら つね なが

支倉常長生誕祭

2015 9.17(木) 山形県米沢市

支倉常長像
ユネスコ記憶遺産・国宝 仙台市博物館蔵

SPAIN (need Spain)

EMBAJADA DE JAPON EN JAPON

UNION JAPONAISE

慶長遣欧使節出帆
400年記念事業

主 催
支倉常長生誕祭実行委員会

ご挨拶

支倉常長生誕祭実行委員会
委員長 名和 玲 子
委員長 福崎 真知子
実行委員一同

目次

目次	02
ご挨拶	03
さくや姫文化使節団	04
総合プログラム	06
“Soul&BeatUnit” 天地人 第二部記念コンサート曲目	07
メッセージ	08
実行委員会あゆみ	17
ご協賛広告	18

本日は平日のご多忙の中、日本・スペイン交流事業「支倉常長生誕祭」にお越しいただき、誠にありがとうございます。

支倉常長は、日本とスペインの交流をつくったとされ、2013 年 6 月～ 2014 年 7 月、日本の皇太子殿下、支倉常長家第十三代当主支倉常隆氏などのご臨席のもと始まり「日本・スペイン交流400周年事業」が 570 件も行われました。そして、2014 年 6 月、東北のアーティスト“Soul&BeatUnit” 天地人が招かれ、スペインの公演先であるトレド、セゴビア、マドリッド、バルセロナの各市長に米沢市長の親書をお渡ししました。更にトレドでは支倉常長生誕の地、米沢市関地区の土を撒いて桜の植樹を行ない、両国交流の一翼を担いました。

「支倉常長生誕祭」は、東日本大震災後、「Soul&BeatUnit 天地人」が、岩手県知事の親書（東日本大震災支援へのお礼状）を各国にお届けし、スペインでのフラメンコギターの最高峰カニサレスと共演したことから始まりました。

本日の事業は、スペイン臨時代理大使カルロス・マルドナード公使参事官、前スペイン駐箚日本国特命全権大使佐藤悟様、伊達家十八代当主伊達泰宗様、支倉常長家第十三代当主支倉常隆様もお迎えし、支倉常長の生誕地と言われる山形県米沢市で執り行われます。平和を祈り更なるスペインとの交流を深めるために、トレドの土を撒いて「桜植樹」、「記念シンポジウム」「記念コンサート」を行います。

結びに、この事業にご賛同いただきました支倉常長生誕之地保存会、企業各位をはじめ、関係ご当局の皆様のお力添えに深く感謝申し上げます。

“ 時空を超え現代へ！ ”
これから日本・スペイン交流のあらたな一歩が始まります。

さくや姫文化使節団

スペイン訪問 (2014年6月22日～26日)

“Soul&BeatUnit” 天地人を中心とした「さくや姫文化使節団」は、友情出演したフラメンコギターのカニサレス氏と共に、トレド、セゴビア、マドリッド、バルセロナにおいて交流公演を実施、各地代表に親書を呈上しました。

6月22日(日) トレド・軍事博物館 (アルカサル) オーディトリウム
6月23日(月) セゴビア サン・マルティン広場
6月24日(火) マドリッド 王立サン・フェルナンド美術アカデミー
6月26日(木) バルセロナ C.A.T.



トレド・軍事博物館 (アルカサル) にて「さくら」の植樹。支倉常長生誕の地 (米沢) の土を撒いた



親書呈上(トレド)



親書呈上(セゴビア)



親書呈上(マドリッド)



親書呈上(日本大使館)



親書呈上(バルセロナ)



交流公演(マドリッド)



交流公演(トレド)



交流公演(セゴビア)



カニサレス氏 © Amancio Guillén



トレド軍事博物館 (アルカサル)



「さくら」植樹会場 (トレド)



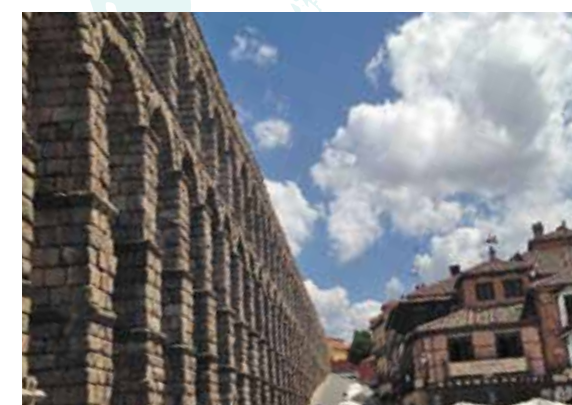
記者会見 (トレド)



「さくら」植樹記念セレモニー



在スペイン日本国大使館にて



セゴビアの水道橋



マドリッド王立サン・フェルナンド美術アカデミー



マドリッド王立サン・フェルナンド美術アカデミー

日本・スペイン交流事業 支倉常長生誕祭全体スケジュール

開催日 2015/9/17 日（木）

11:00-12:30 ◆スペイン大使歓迎レセプション（東京第一ホテル米沢）

13:30-14:30 ◆桜植樹事業：支倉常長生誕の地に桜の植樹

2014 年「天地人」がトレドの植樹で預かった「スペインの土で植樹」

場所：支倉常長生誕之地歴史資料館前広場

1. 式典 13:30-13:50

2. 桜植樹 及び交流会 13:50-14:30

①桜植樹：2 本

②関小学校児童、関地区民との交流会

・スペイン語による「幸せなら手をたたこう」歌披露

・スペイン臨時大使と児童による質問交流タイム

3. 「愛の武将隊」 演武

4. 閉会

15:30-19:30 ◆日本・スペイン交流記念事業（伝国の杜 置賜文化ホール）

◇15:30-19:30 スペインフェア：於 ホワイエ

◇16:30-18:00 第一部：記念シンポジウム 総合司会：ダニエル・カール氏

○記念セレモニー

○基調講演：仙台市博物館 学芸員 佐々木 徹氏

○パネルディスカッション

コーディネイター 米沢市芸術文化協会副会長 清野 春樹氏

パネリスト 伊達家 18 代当主 伊達 泰宗氏

支倉常長家第 13 代当主 支倉 常隆氏

米沢市長 安部 三十郎氏

◇18:15-19:15 第二部：記念コンサート 総合司会：ダニエル・カール氏

出演：“Soul & Beat Unit” 天地人

◇クロージング・セレモニー：メッセージバトン署名披露

“Soul&BeatUnit” 天地人コンサート

～支倉常長のメッセージを聴く～

1. human being

天・地・人という大きな意味の中で「人」をテーマにしたこの曲は、東日本大震災以降「祈り」の曲となる。

2. 雪奉り

しんしんと雪に覆われていく未知国（みちのく）の冬。

雪は大地を休ませ、人の心を清める天の使者。

この曲は、“雪の舞”を描いた真冬の叙情詩。

3. こもれび

鳥のさえずり、大地を渡る涼やかな風と秋の陽だまりに癒されて、心は遙か彼方へ時空を超えて旅に出る。

4. スペイン

ジャズピアニストのチックコリアの曲。クラシックのアランフェス協奏曲をイントロに用い、世界中の演奏家にカバーされている名曲。天地人のスペイン公演ではフラメンコギターの最高峰カニサレスとコラボレーションし大成功をおさめる。

5. 雲漢

東日本大震災復興応援曲。

雲漢とは、23 メートルの高さを誇る青森県立佞武多の台座に書かれた「天の川」を意味する言葉。曲中の「やってまいれ！」の掛け声は「やりましょう！」と言う津軽弁で、震災当時の避難所の方々のかけ声が録音されている。

世界に羽ばたく、東北生まれの「天地人」

2003 年、秋田にて結成。

メンバーは元オフコースのドラマー、大間ジロー（秋田県在住）と津軽三味線全日本金木大会最高位「仁太坊」（にたぼう）賞を史上初三連覇した黒澤博幸（岩手県在住）。黒澤は津軽三味線の始祖「仁太坊」（にたぼう）を語れる唯一の奏者である。

東日本大震災で、天地人は仲間を失ったことから、復興支援コンサートを開始。岩手県知事の震災支援の親書を持ち、“東北のメッセンジャー”として、ドイツ、台湾、アメリカ、スペインなどで公演。後世に残す為に作られた復興応援曲「雲漢」は、ファッションデザイナーをはじめ、各界のアーティストとコラボ演奏をし、天地人の代表曲として国内外で絶賛されている。2013 年東京フィルハーモニーと共演するほか 2014 年伊勢神宮の御遷宮で伊勢の開祖神と言われる「倭姫命」（やまとひめのみこと）をリリース。

2015 年は、戦後 70 年、ハワイパールハーバー近くの教会でハワイアンギターの巨匠と言われる「ケオラ・ビーマー」と共演し「平和祈念コンサート」を実現した。

音響：株式会社ステージアンサンブル東北

照明：有限会社サウンドプラス

舞台監督：音楽事務所 ジャパン・ユニオン



駐日スペイン大使
ゴンザロ・デ・ベニート

この度の《支倉常長生誕祭》に参加させて頂けますことはスペイン大使館にとって光栄なことであり大いに感動致すものであります。これは、永年に亘り日本とスペインが培ってきました親密な友好関係の証と言えます。当イベントを企画運営された皆様方のイニシャティブに賞賛いたします。

この場にご一緒させて頂きたかったのですが、あいにく外すことの出来ない先約の為、本日マドリードの地を離れることができません。しかしながら、今般、臨時代理大使のカルロス・マルドナード公使参事官が駐日スペイン大使館を代表して参列させて頂きます。同氏にとりましては、日本に着任して初めての出張となりますが、日本とスペインを深く繋ぐきっかけとなった支倉常長氏の生誕の地、米沢が最初の訪問地であるのは意義深いものと感じております。

日西間の公式な交流が始まって 400 余年、その種は確実に花開き実を結びました。今日では日西関係はあらゆる分野で豊かで深い絆になったといえましょう。この様な基盤の上にさらに両国民間には相手国に対する好意と知識が培われてきた歴史がありますので、双方の友好関係にとってこの上ない希望の保証であると申せましょう。

この度、「天地人」がスペインから託された土を撒いて行う、桜植樹式典が予定されているそうです。昨年、トレードに植えた桜が、今年素敵な花がいくつか咲いていると聞き及んでおります。

支倉常長の精神は今日に至っても私どもの内に生きています。スペインの地に日本の桜を植え、今度はスペインの土を撒いて日本に桜を植えるという行為は、両国の関係を更なるものにする為の象徴のひとつとなりましょう。

皆様がスペインという国に対して抱かれる関心に、今一度深く感謝申し上げますとともに、《支倉常長生誕祭》が成功裡に終わることを願ってやみません。



前スペイン駐箚日本国特命全権大使
佐藤 悟

今般、支倉常長の生誕の地である米沢市において、日本とスペインとの交流事業「支倉常長生誕祭」が、市民の皆様の参加の下に、盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

皆様ご存じの通り、日西両国では、一昨年から昨年にかけて、支倉常長を団長とする慶長遣欧使節団のスペイン派遣から 400 年を記念して「日本スペイン交流 400 周年事業」が実施され、政治・経済・科学技術・観光・文化・芸術・スポーツなど幅広い分野で多彩な交流事業が行われました。

特に、スペインでは、多くの方々の協力により、「Soul & Beat Unit 天地人」のコンサートをはじめ、570 件余りの交流行事が各地で開催され、人々を魅了しました。また、太平洋と大西洋の荒波を乗り越え、約 7 年間に亘った「サムライ支倉常長の大きな旅」には、400 年前に東北地方を襲った地震・津波からの復興の願いが込められていたとの史実は、東日本大震災の被災地への連帯の気持と共鳴し、人々の強い関心呼びました。

この度、日本スペイン交流 400 周年事業に引き続き、支倉常長縁の地で、その偉業を振り返りつつ、日本とスペインの交流を一層促進するため「生誕祭」事業が実施されますことは、誠に時宜を得たものであります。

ここに、生誕祭実行委員会をはじめ関係者の皆様のご尽力に心より敬意を表するとともに、今回の事業を通じ、米沢市の豊かな歴史と文化についての理解が深まり、観光や産業の振興にも繋がることを祈念いたします。



総務省副大臣
二之湯 智

日本とスペインの交流の礎を築いた支倉常長が生を受けた米沢の地において、この度、両国の交流事業として支倉常長生誕祭が開催されること、心よりお慶び申し上げます。また、生誕祭の開催にご尽力された実行委員会をはじめとする関係者の方々に深く敬意を表します。

国際交流事業の開催は、我が国が最重要課題として取り組んでいる「地方創生」の観点からも非常に有意義なものと考えています。開催に伴い国内外から多くの方々が訪れるとともに、日本の魅力を海外へ発信することで、将来的な観光客の増加に繋がります。また、日本の方々にとっても、異国の文化に触れる過程で自分たちの地域の魅力を再発見し、「地方創生」のヒントを得る機会になるのではないかと思います。支倉常長生誕祭には、米沢市の他にも、支倉常長ゆかりの地である宮城県石巻市や川崎町など多くの地方自治体に参加されています。地域の活性化・国際化を担当している総務省としても、このような取組みの広がりを大いに期待しているところです。

支倉常長がスペインに渡ってから 400 年、改めて両国交流の歴史を実感するとともに、偉大な先人たちが築き上げてきた交流関係をより深化させなければいけないと感じております。支倉常長生誕祭に多くの方が参加され、両国の絆が更に深まる機会となることを祈念しております。



在スペイン日西観光協会会長
下平 晴朗

写真提供・スペイン王宮府

米沢市の皆さんへ

平成25年6月、日本スペイン交流400周年の開幕に合わせて、交流年名誉総裁として皇太子殿下がいくつかのオープニング行事にご臨席なされ、慶長遣欧使節団・支倉常長の史実、4世紀にわたる交流の歴史があるスペインとの友好関係をご挨拶なされました。

開幕行事の一つ東日本大震災復興「元気な日本」展では、スペイン皇太子殿下（現国王）と共に、元気な復興の模様の展示をごらんになりました。東京都下多摩市の小学校と大船渡市の中学校間で始まった写真交流「きぼうの手」プロジェクトが、使節団が残した「ハボン」姓の町コリア・デル・リオの小学校でも展開されることをご案内した際に、国際的な視野を持つ青少年たちの育成が大事なこととお言葉をちょうだいしました。

コリア・デル・リオでは、両国の平和と絆を記念して皇太子殿下に、その一環として平成26年度「天地人」の皆さんには、使節団の通ったトレド市のアルカサル（現軍事博物館）で「支倉生誕地・米沢の土」をもってして桜の植樹をしていただきました。

この度の米沢市での支倉常長生誕祭。

スペイン・トレド市アルカサルの土で米沢の地に桜の植樹、小学生との交流、食フェア等。文化・産業の活性化、さらには次世代を引き継ぐ青少年育成となる素晴らしい行事です。

米沢市の皆さん、400年来のスペインとの交流を世代を超えて受け継がれるよう発展していきましょう!!



宮城県知事
村井 嘉浩

「支倉常長生誕祭」が支倉常長生誕の地である、ここ山形県米沢市の「伝国の杜ホール」で盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

さて、仙台藩主・伊達政宗の命を受けた支倉常長ら慶長遣欧使節が1613年に石巻月浦を出帆してから一昨年で400年を迎えました。

宮城県では、この400年を契機として、慶長遣欧使節の偉業を再認識し、未来へと引き継いでいくため、「慶長遣欧使節出帆400年記念事業」を実施しております。様々な事業を通じて、多くの方々、特に若い世代の方々に慶長遣欧使節についての理解を深めていただくとともに、慶長遣欧使節が辿った関係国との友好関係をさらに深めてまいりたいと考えております。

東日本大震災では、宮城県慶長使節船ミュージアムや復元船「サン・ファン・パウティスタ」も大きな被害を受けましたが、復旧も完了し、以前の勇姿を取り戻すことができました。本日御来場の皆様には、これを機会に是非宮城県を訪れていただき、東日本大震災の津波に耐えた「サン・ファン・パウティスタ」を御覧いただければ幸いです。

宮城県といたしましては今後も、関係各地の皆様方と連携し、慶長遣欧使節の業績を国内外へ、そして未来へと伝えてまいりたいと考えておりますので、一層の御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、生誕祭の開催に御尽力いただきました関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、生誕祭の成功と皆様の今後益々の御活躍を御祈念申し上げます。



宮城県石巻市長
亀山 紘

支倉常長生誕祭が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

支倉常長翁の生涯を振り返り、成し遂げた偉業を称え、後世に記憶を繋いでいくとともに、日本とスペインとの繋がりを学び、交流を深める大変有意義な行事であると考えております。そして、常長翁が現代に繋いだ日本とスペインとの「交流」が、更に深まるものと確信しております。

宮城県石巻市は、約400年前に仙台藩主「伊達政宗公の命を受け、常長翁を始めとする慶長遣欧使節団けいちようけんおうしせつだんの一行が、メキシコとの直接貿易とキリスト教布教のための宣教師派遣を求めて、スペイン国王及びローマ教皇のもとへと出帆した地「月浦（つきのうら）」を有しております。

また、慶長遣欧使節の歴史的偉業を学ぶことのできる施設「慶長使節船ミュージアム（通称：サン・ファン館）」があります。東日本大震災により、一時は閉鎖を余儀なくされておりましたが、平成25年に再開館を果たしました。当施設では、常長翁がヨーロッパを目指し、夢と希望を乗せて出帆した「サン・ファン・パウティスタ号」の復元船が展示されており、乗船体験もできます。ぜひ、石巻市を訪れ、常長翁の足跡をたどってみてください。

結びに、本事業の運営に当たられた関係者の皆様に、心から敬意を表しますとともに、御参集の皆様の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、メッセージとさせていただきます。



宮城県川崎町長
小山 修作

スペイン大使をお迎えし、「日本・スペイン交流事業 支倉常長生誕祭」が盛大に開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。

さて、現在、大リーグの田中選手やオリンピック金メダリスト羽生選手などが、東北から舞台を世界にかえて大活躍しています。

けれど、400年以上も前に仙台藩主、伊達政宗公の命を受け、東北の大地を蹴って、世界に船出した人物こそ、米沢に生まれ、川崎で育った支倉六右衛門常長なのです。

彼は、当時、世界最強といわれた大国、スペインを相手に、臆することなく、堂々と、しかも粘り強く、通商交易の交渉を行いました。彼の勇気と忍耐力、そして使命感の強さを、現代に生きる我々も見習わなければなりません。

私たちのふるさと、宮城県川崎町では、彼の偉業を称え、その功績を後世に伝えるため、毎年6月に「みやぎ川崎町支倉常長まつり」を開催しています。今年で22回を数えました。

常長が見た山並み。常長が歩いた大地。常長が触れた風……。常長を育んだ川崎町へも皆様どうぞ足をお運び下さい。

むすびに、米沢市をはじめとする常長ゆかりの各市町の益々の発展と、彼が求めてやまなかった日本とスペインの交流の更なる伸展を祈ってメッセージとします。



山形県知事
吉村 美栄子

支倉常長の生誕の地、米沢市におきまして、日本・スペイン交流事業「支倉常長生誕祭」が、カルロス・マルドナード駐日スペイン臨時大使閣下の御臨席のもと開催されますことは、支倉常長の功績を顕彰し、また、日本・スペインの友好交流を一層進めていくうえで、誠に意義深いものであります。

支倉常長が率いる慶長遣欧使節が1613年に派遣されてから今年で400年余。支倉常長が艱難辛苦を乗り越え成し遂げた功績は、同使節が足跡を残した各国において脈々と受け継がれており、今なお多くの人々に勇気と感動を与えています。

現在、日本とスペインとの間では、経済や文化面など、幅広い分野で多様な交流が展開されています。経済面では、両国間の貿易総額が近年増加傾向にあり、観光面においても、2014年における日本からスペインへの旅行者数、スペインから日本への旅行者数ともに過去最高となっております。また、スペインでは、華道や茶道、武道などの日本の伝統文化のほか、文学や日本食についても高い評価がなされております。本県とスペインとの学術交流においては、山形大学がスペイン最古の大学であるサラマンカ大学と2013年に協定を締結し、研究交流を進めております。

この度、「支倉常長生誕之地歴史資料館広場」において、駐日スペイン臨時大使閣下や支倉家に縁のある方々、地域の児童の皆さんによる桜の記念植樹が行われました。支倉常長が残した偉大な功績は、この桜の木とともに、これからも将来の世代に受け継がれていくものと思います。

今回の日本・スペイン交流事業「支倉常長生誕祭」の開催を大きな契機として、支倉常長に関する理解が日本・スペイン両国で一層深まり、両国の幅広い分野における交流が一層進むことを心から期待しております。



米沢市長
安部 三十郎

秋の夜に輝く月の美しさを感じる季節、ようこそ米沢市にお出でくださいました。日本・スペイン交流事業「支倉常長生誕祭」が、スペイン臨時大使、前駐スペイン大使、伊達家御当主、支倉常長家御当主、常長ゆかりの地の皆様ご臨席のもと盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。開催にあたりまして、各種関連イベントを通し支倉常長の功績を広くご紹介いただいております実行委員会の皆様に対し、深く感謝申し上げます。

本市では、一昨年市民提案により「支倉常長誕生地」案内板が関地区に設置され、昨年は「歴史資料館オープン、政宗と常長を描いた「田んぼアート」、さらにはミニミュージカル「常長の祈り」の全国田んぼアートサミットでの上演など、支倉常長の業績を市内外に広く発信してまいりました。そのような中、さくや姫文化使節団スペイン訪問により関地区「生誕地の土」がスペインへ渡り、本日は「トレドの土」を撒いて桜の植樹が行われるなど、国を越えた交流がここに実現できますことは、大変大きな喜びでございます。

主君のために「慶長遣欧使節団」を率いて未知の国へ船出をし、全精力をかけ外交交渉に奮闘、栄光と失意の果てに帰国した支倉常長。その熱き想いは、お互いの地で毎年咲き誇る「サクラ」がこれからも人々に語り続けてくれることでしょう。伊達政宗、支倉常長の残した足跡を辿りながら、スペインと日本の交流を深める意義ある一日となりますようお祈りいたします。



実行委員会のあゆみ

実行委員会組織

委員長 名和 玲子、 福崎 真知子
副委員長 岡崎 利勝、 種村 信次、 金子 幸雄
事務局長 小島 卓二
委員 ダニエル・カール、相田 克平、相田 晃輔、相田 光照、伊藤 譲、梅津 幸保、大間 ジロー、神林 美彌子、九里 廣志、黒澤 博幸、黒田 三佳、小島 はじめ、小嶋 彌左衛門、後藤 則子、後藤 秀之、近 清剛、近藤 哲夫、佐藤 和助、塩川 智子、柴田 正孝、清野 春樹、高橋 千代子、竹田 昭弘、蔦 幹夫、手塚 隆子、内藤 文徳、長岡 富士子、名和 興一、長谷部 利信、マイク 白田、松田 純一、宮本 勝夫、宮坂 孝夫、矢尾板 操、吉澤 和美、吉澤 匠

活動経過報告

- ①実行委員会会議 開催
2015年5月21日(木)第1回・6月14日(日)第2回・7月12日(日)第3回・7月31日(金)臨時実行委員会・8月23日(日)第4回・9月6日(日)第5回・9月16日(水)第6回実行委員会
- ②支倉講座 寺子屋おとな塾 開催
第1回 6/14(日)講師：竹田昭弘・第2回 7/12(日)講師：竹田昭弘・第3回 8/23(日)講師：竹田昭弘
第4回 9/6(日)講師：清野 晴樹

関連事業

- ①「第3回 夏のおしよしなフェスタ」平成27年8月2日開幕時「支倉生誕祭キックオフ宣言」
- ②“日本人で初めてチョコレートを食した日本人…それは支倉常長”

チョコレート菓子開発

- ・商品名「支倉ブラウニィ」開発者 おしよしな本舗(有)ロワール
山形県産の豊潤なフルーツと、スペインチョコヴィック社の上質なチョコレートを原材料としたブラウニィを、日本伝承文化の「もなか皮」でサンドし食する「ふわっ・さくっ」のお菓子です。
この「もなか皮」の模様は山形大学工学部古川英光研究室の技術指導によりできあがりました。
- ・商品名「うこぎチョコブッセ」開発者 米沢商業高等学校 米商つぶ 製造：永井屋菓子店
米沢生まれの常長と、米沢のかてもの「うこぎ」をイメージとしたお菓子。
外側の生地は薄緑色でうこぎ入り、中にはチョコレートがうこぎの生地に包まれています。
うこぎとチョコレートのハーモニーをお楽しみください。どなたでも食べやすい味です。

- ③大沼デパート スペインフェア開催 9月16日(水)～9月23日(水)
ゆかりの地物産フェア

広報活動

- ①ポスター・ちらし制作 ②メディア発表 1回目：平成27年5月22日 2回目：平成27年9月9日 ③新聞各社 記事掲載 ④FMNCV ゲストトーク出演 8月31日・9月1日 ⑤山形テレビ「キンゴジ」木曜日7月31日 伝言板コーナー出演 ⑥米沢市広報掲載9月1日号 ⑦米沢商工会議所所報“RAINBOW”本文記事1頁掲載 ⑧地域ポータルサイト“よねざわネット”掲載 ⑨facebook“支倉常長生誕祭” ⑩新聞折込ちらし制作 ⑪のぼり旗制作 「米沢 支倉常長生誕の地」ののぼり旗を200枚制作し、商店街の皆様、企業の皆様、多くの方々のご協力により市内の各所に掲出していただきました。
- ⑫山形新聞社文字広告ネットワーク欄「スウィング」掲載9月15日



のぼり揮毫 諏訪章子氏

日本・スペイン交流事業

祝 支倉常長生誕祭

—— 往路
- - - 復路



支倉常長像
ユネスコ記憶遺産・国宝
仙台市博物館蔵



慶長遣欧使節団の足跡をたどる

Ai- プロジェクト
山形県米沢市

相田建設株式会社
山形県米沢市

有限会社有坂保険
山形県米沢市

株式会社米沢いびしや
山形県米沢市

株式会社上杉コーポレーション
山形県米沢市

税理士法人
おおぞら総合会計事務所
山形県米沢市

株式会社大沼 米沢店
山形県米沢市

株式会社小野川温泉河鹿荘
山形県米沢市

株式会社吉祥
(米沢牛・山懐料理 吉亭)
山形県米沢市

精英堂印刷株式会社
山形県米沢市

株式会社セゾンファクトリー
山形県東置賜郡高畠町

株式会社タケマエ
山形県米沢市

株式会社タスクフーズ
山形県米沢市

おしょうしな本舗
有限会社ロワール
山形県米沢市福田町二丁目 3-117
電話: 0238-21-5758

サクサホールディングス
株式会社
東京都港区白金一丁目 17 番 3 号
NBF プラチナタワー
電話: 03-5791-5511

NCV が提案する TV の新しい形
NCVスマートテレビ

YouTube も
大画面で楽しめる

たっぷり録画
ゆったり視聴!

家中どこでも
タブレット視聴

STB

VOD
NCV アクティビ
みるプラス

外出先でも
ケータイで
録画予約

スマートテレビの
お問合せ・お申込みは

NCV 株式会社 ニューメディア
TEL: (0238) 24-2525
〒992-0044 米沢市春日四丁目2-75 【営業時間】年中無休 9:00~18:00

情野冷熱機工株式会社
山形県米沢市大字花沢 371-8
電話: 0238-22-7070

株式会社松川弁当店
山形県米沢市
アルカディア 1 丁目 808-20
電話: 0238-29-0141

動画で日本を学ぼう!!

気軽に、手軽に、何度でも! 日本伝統文化が学べます。

dogadenippon.com
渋谷レールズ
TEL 3476-4422

デザインは、ヒューマンコミュニケーションツール

TOTAL SYSTEM DESIGN HOUSE
ジーエスデザイン株式会社
山形県米沢市万世町桑山4311番地
TEL 0238-29-0100 FAX 0238-29-0200

さくや姫文化使節団

事務局 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂2-18-11-603 ジャパン・ユニオン内
TEL 03-3476-4422 FAX 03-3476-4423

支倉常長生誕地保存会
米沢市大字関立石

60th 近畿日本ツーリスト
近畿日本ツーリスト株式会社 横浜支店

あなたのそばに もっと身近に

米沢信用金庫
理事長 加藤 秀明

〒992-0031 米沢市大町五丁目4番27号
TEL: 0238-22-3435
<http://www.shinkin.co.jp/yonezawa/>

株式会社データシステム米沢
山形県米沢市

株式会社 ナウエル
山形県米沢市

八幡原企業協議会
山形県米沢市

株式会社パルコモード
山形県米沢市

有限会社ふる山
山形県米沢市

税理士法人松田佐々木会計
山形県米沢市

株式会社三奥屋
山形県東置賜郡高畠町

株式会社横山興業
山形県米沢市

株式会社米沢牛黄木
山形県米沢市

米沢ドライビングスクール
山形県米沢市

株式会社ワイ・エム・ピー
山形県米沢市

ミユキ精機株式会社
山形県米沢市

米沢市金融団
山形銀行 荘内銀行
きらやか銀行 米沢信用金庫
山形第一信用組合